

史跡国見山廃寺跡第44次発掘調査概要

調査要項

遺跡名	史跡 国見山廃寺(くにみさんはいじ)跡	所在地	北上市稲瀬町 地内
調査期間	平成20年8月～10月(予定)	調査目的	内容確認
調査担当	北上市立埋蔵文化財センター		

遺跡の位置

国見山廃寺跡は、JR東北本線北上駅から南東約2.7kmに位置し、北上山地西縁部丘陵の一つである国見山一帯にあります。周囲には海拔約150～200mの山々がめぐり、小盆地を形作っています。仏堂跡などの遺跡は、国見山南麓の斜面とそれに続く平坦地に立地しています。

遺跡の概要

国見山廃寺跡が注目される契機は、昭和11(1936)年5月に国見山神社の南を東西に通る道路改良工事の際に瓦の破片が発見されたことによります。これに注目した研究者の司東真雄氏らは、この地域に何らかの遺跡が存在していると想定しました。

その後、この地域からは散発的に瓦片、硯片、土師器等が発見されたことにより、古代寺院の存在が推定されました。

今までの調査経過

初期の調査は、昭和38年以降数回の発掘調査が行われ、塔跡、七間堂跡、方三間堂跡などの礎石建物跡が発見され、平安時代の山岳寺院跡であることが判明しました。調査初期段階では、瓦が出土する大規模な寺院跡であることや、遺跡周辺の地名考証等から、六国史の一つである『日本文徳天皇実録』天安元(857)年6月3日の条に記されている「陸奥国極楽寺」跡の可能性が指摘されましたが、出土する遺物や発見された遺構からは、それを断定することができませんでした。このような問題点をふまえ、昭和61(1986)年から断続的ながら国見山廃寺跡の全容と年代を解明するための調査を実施してきました。その結果、『日本文徳天皇実録』に記された極楽寺であることは証明できませんでしたが、平安時代中期の大規模な山地の寺院であることが判明しました。その重要性から平成16年9月に国の史跡に指定されています。

今回の調査成果

今回は、国見山廃寺跡発掘調査における第44次調査にあたります。第4・5次調査(昭和41・42年度)で確認された方三間堂跡(ほうさんけんどう)の東側にある平場の調査を行いました。昨年度(平成20年度)からの継続調査です。現在の国見山神社拝殿から西へ50mほどの位置にあたります。

○SB010礎石建物跡が所在する平場

平面形：東西約30m、南北約13m、標高155m、斜面を削って造成した平場と考えられます。山

中の国見山廃寺跡においては、比較的大きな平場です。SB010礎石建物跡はこの平場の西端に建てられており、そのため建物跡の東側は広場のような空間になっていました。

今回の調査では、SB010礎石建物跡が建てられている整地面より、さらに下層を調べました。その結果、以下のことがわかりました。

- ・SB010礎石建物跡の整地面（④面）上には、他に掘立柱建物跡などは確認されませんでした。
- ・SB010礎石建物跡の盛土及びその下層の盛土からは瓦は出土しない。瓦は整地面（④面）上に堆積する表土中から出土し、特に斜面部分で多く出土します。
- ・SB010礎石建物跡の整地面下80cmに盛土整地面（③面）を確認、その整地面上に焼失したと考えられる掘立柱建物跡の柱穴を確認しました。
- ・新たに確認された掘立柱建物跡の盛土下に、十和田 a 火山灰（西暦915年に十和田火山から噴出した火山灰）の層を確認しました。
- ・十和田 a 火山灰層下から、新（②面）、旧（①面）2面の整地面を確認しました。②面では建物が焼失した際にできたと考えられる炭層のすぐ上に火山灰が堆積しています。

まとめ

以上の成果から、SB010礎石建物跡のある上段平場について次のことが考えられます。

- 1 上段平場の最終段階では平場の端に方三間堂であるSB010礎石建物跡が建てられ、その東側は広場のような空間でした。
- 2 瓦の建物は④面の盛土上に建っていたが、最終段階ではすでに無くなっていました。
- 3 ④面の盛土の下③面には、掘立柱のお堂があったと考えられます。
- 4 ③面の盛土の下に十和田 a 火山灰層があることから、③面のお堂は915年より新しいものと考えられます。
- 5 十和田 a 火山灰層の下にある②、①面の整地面は915年より古い時代のものです。
- 6 従来はSB011礎石建物跡がある下段平場の方が中心で、SB010礎石建物跡がある上段平場は付属施設の平場と考えられてきましたが、国見山廃寺創建期から下段平場とともに活用され、数度にわたる建替え、盛土整地を繰り返していることから、上段も中心的な役割もつ堂があったと考えられます。

埋蔵文化財センターこれからの行事予定

入場無料

埋蔵文化財展－埋蔵文化財センター20年のあゆみ－

日程：平成22年1月7日（木）～11日（月） 場所 江釣子 SC パル催事場

埋蔵文化財センター設立20年を記念して、これまで調査してきた主な遺跡の遺物やパネルを展示解説します。

発掘調査報告会と講演会

日程：平成21年1月9日（土）午後1時～5時 場所 現代詩歌文学館講堂

報告会：平成21年度に調査した遺跡についてスライドなどで報告します

講演会：講師は未定です。

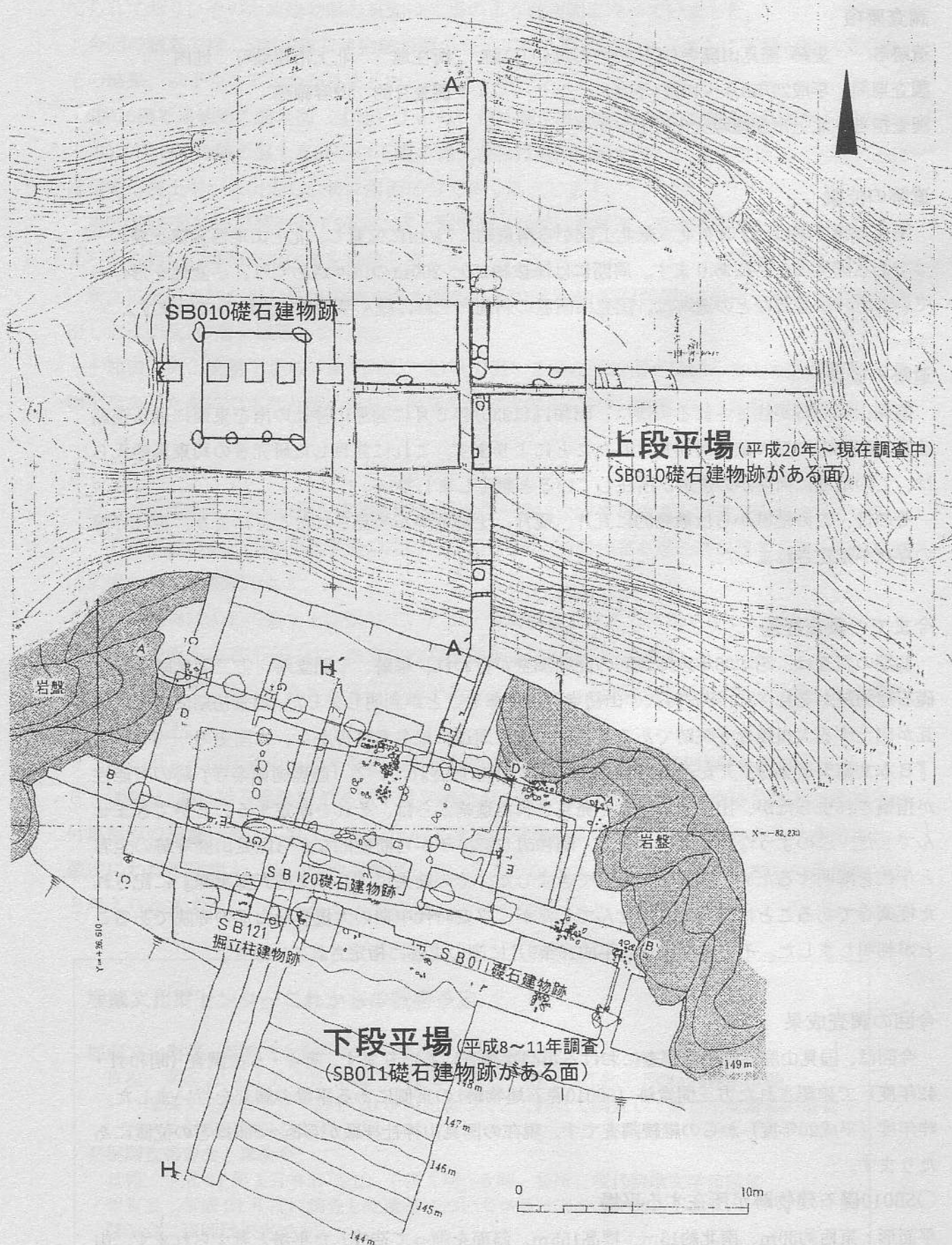


図2

